

「辻の森」における J-クレジットへの取り組み

～なぜ辻製油は森林由来カーボン
クレジットに取り組むのか～

2026年 2月 4日

三重の自然由来カーボンクレジット活用に向けた普及啓発セミナー

辻製油株式会社 安藤 慎純

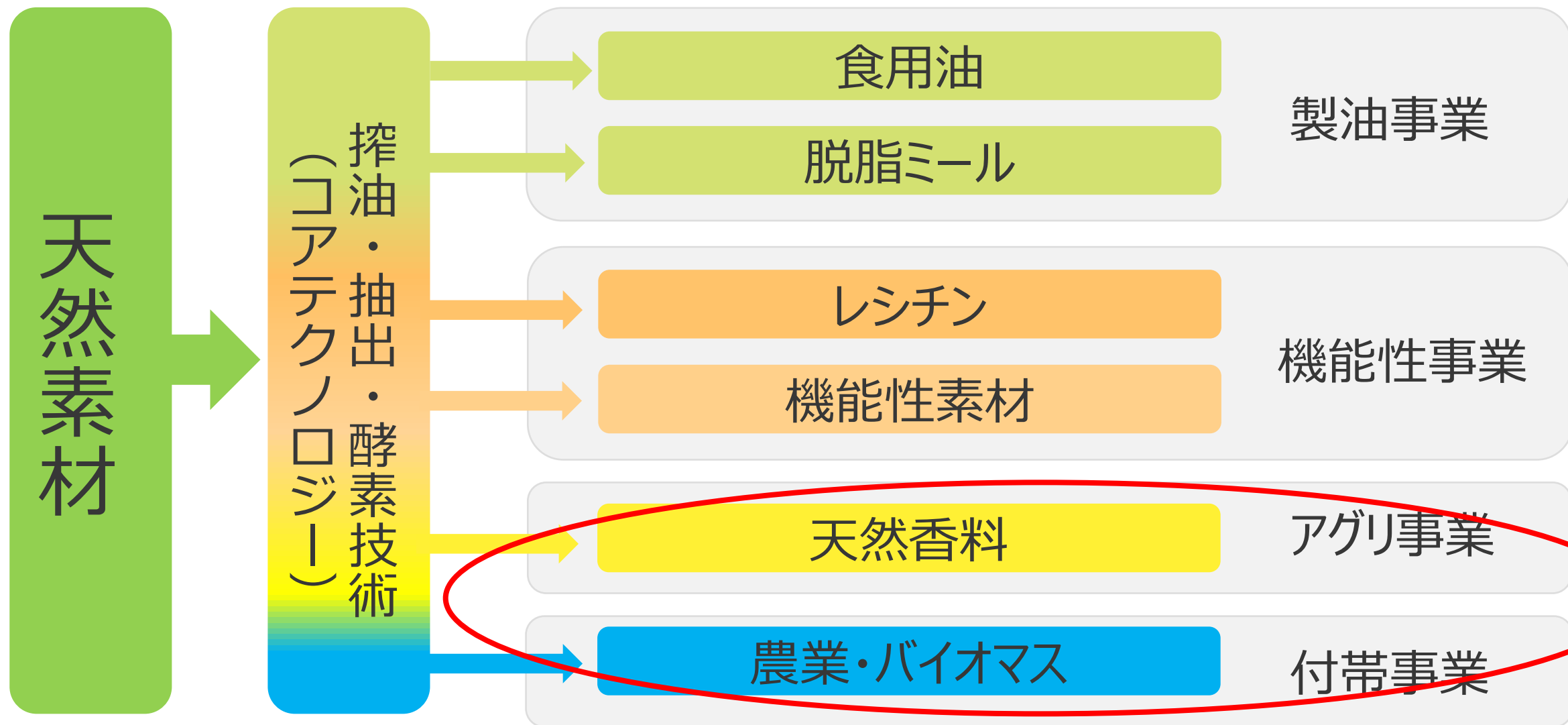
辻製油の沿革

- 1947 昭和22年 国産なたね搾油専門工場として「**辻製油所**」を創立
- 1961 昭和36年 トウモロコシ搾油に着手
- 1968 昭和43年 大豆レシチンの研究開発に着手 “粉末レシチン“を発売
- 1976 昭和51年 法人「**辻製油(株)**」を設立
- 1994 平成 6年 三井物産(株)と合併会社「**松阪タンクターミナル(株)**」を設立
- 2007 平成19年 農林水産省補助事業「**松阪木質バイオマス熱利用協同組合**」を設立
- 2009 平成21年 個人向商品取扱会社「**うれし野ラボ(株)**」を設立
- 2011 平成23年 三重大学内に「**辻H&Bサイエンス研究室**」を開設
高知県安芸市に「**高知工場**」を建設
- 2012 平成24年 平成24年度知財功労賞経済産業大臣表彰受賞(特許活用優良企業)主催／経済産業省 特許庁
- 2014 平成26年 「**うれし野アグリ(株)**」植物工場が完成、操業
- 2015 平成27年 (株)果実堂(熊本県)と合併会社「**うれしの農園(株)**」を設立
- 2018 平成30年 うれし野ラボ株式会社を吸収合併(BtoC事業の推進)
- 2019 平成31年 東京事務所を開設
- 2024 令和6年 「**辻の森**」を開設 **森林由来J-クレジットプロジェクト**開始
- 2025 令和7年 新本社事務所を建設

輸入原料の加工を基盤とする
第一創業



国内資源、地域資源の活用を
目指す第二創業へ





辻製油の企業理念

地域や
農業・林業の
未来へ貢献

循環型社会
の実現

天然資源の
有効活用

辻製油は自社の事業を通じて
持続可能な開発目標「SDGs」達成に向けた
積極的な取り組みを行っています



バイオマス熱利用事業



三重県の山林から出る間伐材などを原料とした木質バイオマスボイラーの熱を利用し、本社工場にエネルギーを供給。



トマト栽培事業



再生可能エネルギーを利用した冷暖房完備のハイテクガラスハウスで房どりトマトを栽培。



ヒノキ精油事業



FSC認証を取得した森のヒノキの間伐材から精油を抽出。山林保全や林業の活性化に貢献。



柑橘搾汁事業



東紀州特産の柑橘栽培地における高齢化、放置・荒廃した農園の維持のため柑橘果汁を製造。



ユズ精油事業



ほとんど廃棄されていた果汁搾汁後の柚子の皮から、精油を抽出。未利用資源の活用にご貢献。



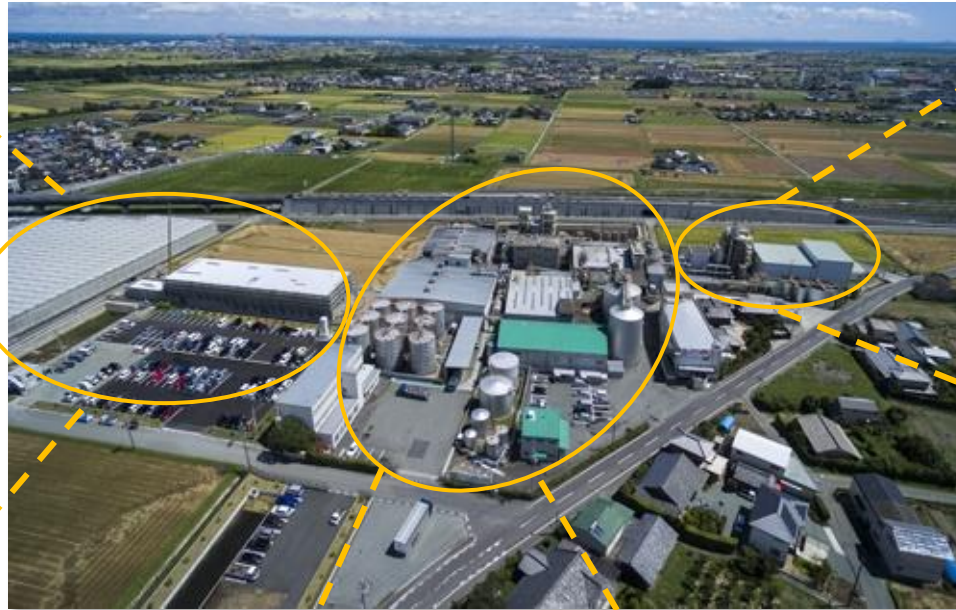
蒸気

うれし野アグリ株式会社

3.2haの太陽光利用型植物工場
国内先進的技術を組み合わせ
房どりミニトマトを生産。
エネルギー効率を上げるため、
木質バイオマスの蒸気を暖房に使用。
また辻製油の工場から排出される90度
の温水を再加温し、暖房に再利用。



房どりミニトマト



温水

辻製油 食用油製造工場

バイオマスで蒸気を発生して
食用油製造工場の熱エネルギー
として利用

- ・ 石油換算で年間 9,000kl削減
- ・ CO2発生を 23,000トンを削減
- ・ 重油換算で 8 億円経費削減



松阪木質バイオマス
熱利用協同組合

ウッドピアから供給された木質チップを
燃料として蒸気を生産



木質チップ

ウッドピア

木質バイオマス利用協同組合
三重県の森林から出る未利用材、
製材端材、建築廃材を破碎し、
木質チップを供給 6

松阪木質バイオマス熱利用協同組合

- 林野庁の国庫補助事業
(林業・木材産業構造改革事業補助金)
- 林業事業から発生する間伐材、林地残材、木材加工残材、バーク等や木質建築廃材等を燃料として蒸気を生産、販売

製材端材、樹皮、間伐材、林地残材、原木市場残材

事業目的

- ① 継続的な森林管理「緑の循環」を支えるシステムの構築
- ② 木材業の活性化
- ③ 循環型社会の形成
- ④ 地球温暖化防止

ウッドピア木質バイオマス
利用協同組合



【破碎】

木質チップ

松阪木質バイオマス
熱利用協同組合



【蒸気製造】

蒸気販売

辻製油(株)



【食用油製造】

間伐をしていないために
日光が届かない森林



放置された間伐材



間伐材の切り出し作業



林道から間伐材の搬出作業



間伐材の集積



間伐された森林



尾鷲ヒノキ FSC認証材

辻製油はFSC認証の
ヒノキの未利用材を
適正価格で購入



尾鷲ヒノキ

抽出



フレグランス
フレーバー原料
機能性素材

三重県産ヒノキの未利用材から 新たな価値を創出

ヒノキの間伐材や根元の部分を
チップ化して精油を抽出。
アップサイクル。

SDGs

持続可能な開発目標

適切な森林管理に貢献し
地域の林業の活性化を
サポート

15 陸の豊かさも
守ろう



森林再生のための
木材付加価値向上



ヒノキ精油



ヒノキ芳香水



辻製油の
FSC認証製品

- ・ヒノキ精油
- ・ヒノキ芳香水

松阪木質バイオマス
熱利用協同組合
(辻製油付帯事業)

燃料利用



抽出残渣

サーマルリサイクル

精油抽出後の残渣は
燃料として使用

天然ヒノキ香る除菌スプレー

ヒノキ精油・ヒノキ芳香水入り
アルコール製剤



三重県

道の駅「パーク七里御浜」



松阪市
(辻製油本社)

御浜町



御浜町は、気候が温暖な為、多種多様な柑橘類が栽培されており、年間を通して様々みかんを味わうことができます。
道の駅「パーク七里御浜」内の搾汁工場では、これらの柑橘類の「ストレート果汁」の製造を行っています。



平成26年には栽培地の半分が栽培放棄地となり山林に変貌



搾汁・充填工場を新たに整備



栽培された柑橘は安定的に原料として買い入れる



「**辻の森**」とは、辻製油グループが所有する山林で、松阪市後山町、嬉野小原町、勢津町、飯南町合わせて約110haのスギ、ヒノキの人工林がJ-クレジット認証の対象。永続的な森林管理を目的に森林経営者より山林を購入。バイオマス資源としての利用のみならず、起源となる森林の保全及び環境対策に取り組む。



「辻の森」森林管理事業



関連会社所有の「辻の森」において適切な森林管理「間伐」を実施することで、CO₂の吸収の促進及び生物多様性の保護に貢献。



辻製油グループは、地球環境への貢献を使命とし、持続可能な社会の実現に向けて歩んでいます。
その一環として、J-クレジット制度を活用した環境保全活動に積極的に取り組んでいます。
私たちは、山林の適切な管理を通じて、二酸化炭素の吸収量を増やし、環境負荷の低減を目指しています。
その取り組みにより、以下のような効果を期待しています。

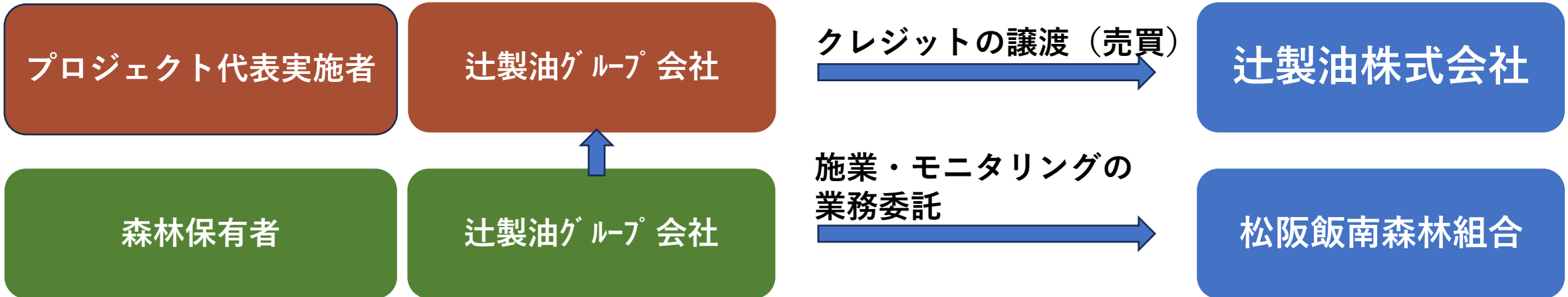
- ・ 気候変動対策の推進： 森林のCO₂吸収を促進し、カーボンニュートラルを目指します
- ・ 生態系の保全： 森林の健全な管理による生物多様性の保護
- ・ 地域社会への貢献： 地元の環境保全活動との連携や地域活性化



「辻の森」によるJ-クレジットの取り組み



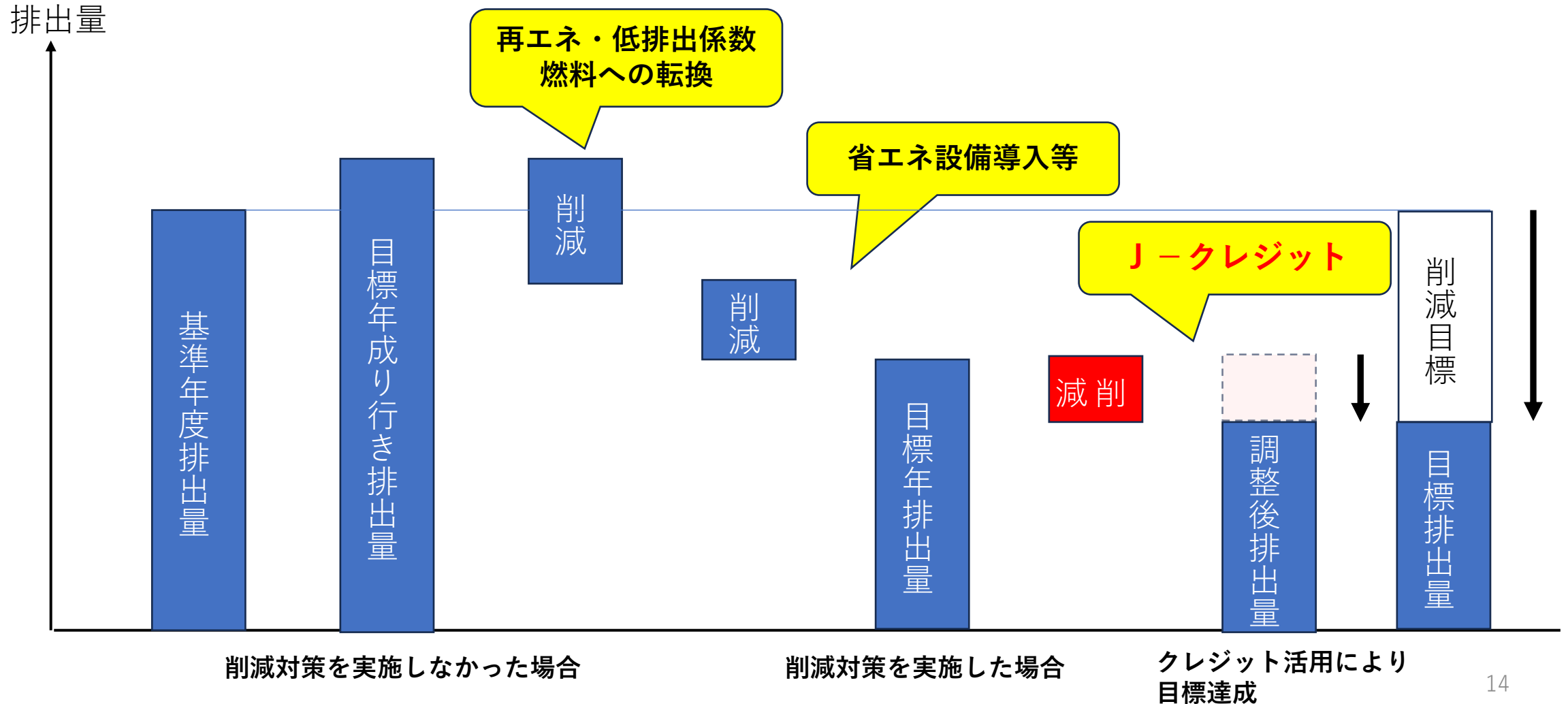
2025年6月申請



「辻の森」



温室効果ガスの排出量削減目標達成に向けた取り組みの一手法として活用





2007年木質バイオマス熱利用事業を開始し、松阪地域の森林資源の有用性に着目。

木質バイオマスの循環型利用を通じて、エネルギーの利用のみならず森林管理を通じて地域の環境保全や地球温暖化防止への取り組みに拡大。

J-クレジット制度を利用して、温対法の「調整後温室効果ガス排出量」の報告等での活用が可能。

2026年より開始されるGX-ETSによりJ-クレジットの需要が高まり価格の高騰が予想されるが、本取り組みにより安定調達が期待される。

食品や農産物の温室効果ガス排出量の見える化ラベルやホームページ等での情報提供により**温暖化対策に積極的な企業**としてのPR効果が期待される。

森林保全活動の後押しなど、**環境貢献企業**等としてPR効果が期待される。

松阪市内の森林を適正に管理することで、生物多様性・水源涵養機能・土砂災害防止等による機能が期待され地域貢献が果たせる。

関係企業や地方公共団体との新たなネットワークを活用した**ビジネス機会の獲得や新たなビジネスモデルの創出**が期待される。

ご清聴有難うございます。

